大阪府知事 **横山ノック殿**

大 阪 市長 **磯村 隆文殿**

**釜ヶ崎反失業連絡会**

大阪市西成区萩之茶屋3－1－10ふるさとの家気付

**新時代の釜ヶ崎（あいりん地区）対策を求める**

まず、大阪府・大阪市が手を携えて「緊急対策」に取り組まれたことに敬意を表したい。

６・７月のセンター夜間開放は、限られた数とは言え、野宿を余儀なくされた労働者に、少なくとも睡眠時に他者から危害を加えられる心配のない夜を提供した。6月から8月中旬までのカンパンの支給は貴重な一食を提供した。労働者の実際の必要からすれば、本当に最低限の、しかも時期の限られた対策ではあったが、釜ヶ崎の新しい事態に積極的に対応していこうとの決意の現れとして高く評価したい。

同様に、夜間開放やカンパン支給を実質的に担った当連絡会また労働者の努力も評価されてしかるべきだと考える。

「緊急対策」初年度を以上のようにまとめた上で、「緊急対策」の域を脱した本格的な対策を求める。

1. **労働者の必要に合致した｢緊急対策｣を打ち出されたい。**

釜ヶ崎の仕事量の急激な増大は見込まれない。来年4月以降も今年と同様、あるいは今年以上に仕事量が不足する事態になることが十分予想される。ようするに、今年同様の｢緊急事態｣が毎年繰り返されるということであり、今年｢緊急対策｣の必要が認められたのであれば、来年以降も当然「緊急対策」の必要は認められるはずである。しかし、その中身は十分な準備期間のあるなしの違いにより、労働者の必要に応じたものに、質的に高められるべきである。

* 早急に、ドヤ券・食券の発行を開始されたい
* 早急に、ドヤでの居宅保護を認められたい
1. **就労対策を確立されたい。**
* 公共工事への日雇労働者雇用を、一定割合で義務づけられたい。
* 各区に「リサイクルセンター」を設置し、釜ヶ崎労働者の就労場所とすること

各区に生ゴミ以外の一時集積所を設け、資源ごとの分別を徹底し、再利用を計ることは人類の義務に応える道である。釜ヶ崎労働者は分別作業を担うことで人類の未来に貢献する。とりあえず、各区百人として2,400人、交代要員を入れて3,000人の就労が可能となる。経費は産業界に負担を求める大義名分もある。

* 高齢者清掃事業枠を300名まで増員されたい。

とりわけ大阪府は通年化を含め、増員に真剣に取り組まれたい。

1. **釜ヶ崎地区あるいは周辺に低家賃住宅を建設されたい。**
2. 以上について議会に提案されたい。
3. 以上について当連絡会と話し合う場を設けられたい。